

〔駿河國新風土記六  
國府〕和名抄、國府在安倍郡、行程、上十八日下九日、今案ルニ、府ヨリ京マデ今ノ道  
七十五里トイフ。○中府ヲ當郡ニ置レシ事、イヅレノ御代トイフ事ヲシラズ、古ハ廬原郡ニアリ  
テ風土記ニ古國府トアル所是ナリ、今ハ廬原郡ニアル事ハ、ムカシ廬原國造ヲ任サレシヨリ、其  
氏人五百原君代々コノ所ニ住シテ、國ノ政ヲモトリシカラニ、國守ノ府モ爰ニ定リシナルベシ、  
略○中  
國分寺ヲ置レシハ、神龜三年聖武天皇ノ御代ナルニ、廬原郡北高橋ニアリト、風土記ニアリ、  
コハ府ノ東西ニ建トイフコトナレバ、郡ヲヘダツルコトモアルベケレド、コノ川邊ノ國分寺ト  
イフモ、圖帳ニアレバ、後ニ安倍郡ニウツシタルニヤ、然レバ府ノウツリタルハ神龜ヨリ後チニ  
テ、風土記ノナリタル延長ヨリ前ナルベシ。○中今ノ町ハ、往昔安部市ノ舊跡ナリ、其ムカシ、今ソ  
ゴトク小路ナドノ町アリシニヤ未詳、永祿九年今川家ノ老臣飯尾豊前守トイフモノ、野心ノ沙  
汰アリテ、遠州掛川ノ城ヨリ爰ニ招寄テ、家人ニ命ジテ誅セシ事アリ、其時小路軍トイフ事アリ  
シト見エタレバ、今ノ如キマチノアリシコトハ知ラレタリ、其後永祿天正二度ノ兵火ニテ、昔ノ  
家居ハ殘リナク失テ、天正ヨリ以前爰ニ住シトイフモノ有事ナシ、カクテ慶長ノ初メヨリ、民家  
モノココニ建初タルヲ、同十二年神祖爰ニウツリ賜ヒテ、同十四年彦坂九兵衛光政畔柳壽學  
ヲ奉行トシテ、繩張シテ今ノ町ヲ割ラシメ賜ヒシト云、今ノ町ノナレルハ、友野宗善ガ力ナリ、宗  
善ハ代々府ノ町人ノ頭ニテ、町年寄友野與左衛門トイヘル者ノ祖ナリ、其家ニモテル古文書ア  
リ、

定

一御普請并鄉夫之事　一人質之事　一壹揆之事

令歸參駿府爲居住者、右如此之詰役可有御免許之由仰出者也、仍如件

天正三年乙亥十月朔日

跡部九郎左衛門尉奉之